

### 第3回学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和6年1月12日（金） 19:00～20:00
2. 会 場 玉川小学校第2図書館
3. 出席者 伊藤良人さん、長田秀子さん、五味賢一さん、中澤良雄さん、望月克治さん、  
白川雄三さん、小林俊男、大槻織詠、五味活朗 （計9名）  
※伊藤孝さん、小林正芳さんは欠席

#### 4. 議事内容

##### (1) 会長あいさつ

【伊藤良】 年始から自然災害や飛行機事故と、悲しいことが続いた。今は、こういう悲しい映像がSNS等で子どもたちが見れてしまう恐ろしい時代になった。地域住民として、親として、子どもたちをどうサポートできるか考えていきたい。

##### (2) 学校長あいさつ

【小林俊】 今日出張で学校をあけていたが、出張から戻る途中、横断歩道で運転手さんに挨拶をする玉川小学校の児童を見かけた。また、学校へ戻ってからは、不登校児童の保護者から「子どもが学校へ行けた。」と嬉しそうに話しかけられたり、シクラメンの花を頂いたり、嬉しいことが続いた。今日は、皆さんからご意見をいただき、来年度に生かしていきたい。

##### (3) 2学期までの学校の様子（授業アンケート、学校評価アンケートから） ※五味活が説明

【中 澤】 4択式のアンケートは、マンネリ化がおこりやすい。記述も必要では。

【白 川】 クラス差が起きないように配慮してほしい。

##### (4) 150周年記念事業の報告 ※大槻が説明

##### (5) 玉川の日について ※大槻が説明

##### (6) 玉川小学校の児童の様子について意見交換

【中 澤】 学校評価は「玉川らしさ」を生かした特色ある教育活動になっていたかで評価していく方向でよいか。学校職員の評価がほしい。

【白 川】 150周年記念式典で歌った「ふるさとの宝物」の楽譜がほしい。

【白 川】 横断歩道で運転手に挨拶することは、学校で教えているのか。とてもよい。

【伊藤良】 長野県は、横断歩道で車が止まる割合が全国No.1。自然と挨拶の文化が広まっているのだと思う。子どもたち同士で真似をして挨拶する中で、「気持ちいいからやる」という習慣になっているのでは。

【五味賢】 富士見でも挨拶するのが当たり前だった。長野県のいい文化だと思う。

【五味賢】 150周年記念式典で歌った「ふるさとの宝物」の音源がほしい。記念パンフレットにQRコードを載せたらどうか。

【小林俊】 今年のケヤキフェスは、地域の中に入ることができて良かった。先生たちも前向きに参加してくれた。

【中 澤】 雨の中、臨機応変に対応してくれた学校に感謝したい。

【大 槻】 子どもたちもたくさん褒めていただいて、うれしそうだった。

【長 田】 150周年記念式典の際には、子どもたちが受付から会場まで案内してくれて、感激し

た。

【長 田】 今年も「田んぼプロジェクト」に参加したが、脱穀の時、効率よく作業を進めようと、子どもたちが周りを見て、何をすればいいか考えて動いていた。与えられたことをやるだけでなく、自ら考えて動く姿に成長を感じた。

【望 月】 こういう姿が継承されていくと、下の子が上の子を見て育っていく。昔は地域だったが、今は縦わり活動を位置づけることが大切だと思う。

【長 田】 「玉川らしさ」について考えていたが、控えめなところかもしれない。運動会に行くと、いつも人の多さに圧倒される。大勢の中で自分をどう表現していくかに迫られる。この「人数の多さ」が玉川小学校の一つの武器であり、みんなその中でたくましく育っていると感じる。

【五味活】 確かに他の学校と比べ、欠席する児童が少ない気がする。年度末に集計すると、皆勤・精勤の児童の割合が高い。

【白 川】 玉川小学校では、いじめはあるのか。

【望 月】 国がセンサーを強くしている。学校が誠意をもって対応しているかが大事。学校側は隠してしまうことが多いのでしっかり対応してほしい。

【長 田】 今の子どもたちには、いいところを褒めてあげることが大切なのは。1日の中で悲しいこともあったけど、いいこともあったはず。

【白 井】 子の神でスケートボードで遊ぼうとする児童を見かけた。事故が起きてからでは遅いので、注意してほしい。

【望 月】 運動公園に専用の練習場があるので、紹介するといい。

#### (7) 連絡

#### (8) 会長あいさつ

【伊藤良】 たくさんの意見交換ができて良かった。150周年記念式典では、子どもたちが受付をしてくれて、廊下の啓示をいろいろと紹介してくれ、驚いた。また「田んぼプロジェクト」にも参加したが、1年を通して子どもたちと関わり、間近で子どもたちの成長を見る機会があり、嬉しかった。今後もお手伝いしていきたい。